

平成28年度総研大夏の体験入学のご案内

総合研究大学院大学（総研大）物理科学研究科核融合科学専攻では、大学院への進学を考えておられる方々にプラズマ理工学及び核融合工学に関連した最先端の研究現場を体験していただくことを目的として、平成28年8月22日から26日にかけて夏の体験入学を開催します。核融合プラズマの閉じ込め・加熱・計測に関わる実験及び理論的研究、プラズマ・シミュレーション研究、核融合炉設計・応用研究のための工学的研究等、10課題を超える幅広い分野から興味のある課題を選択し、教員や総研大在学生の指導に沿って、少人数グループによる5日間の合宿形式で、核融合研究の最前線を体験していただきます。夏の体験入学の詳細は、核融合科学専攻ホームページ (<http://soken.nifs.ac.jp/>) をご覧ください。

最終講義が行われました

平成28年3月31日をもって退職された先生方の最終講義が、平成28年3月16日に行われました。会場には、研究者や学生たちが多数集まり、熱心に聞き入っていました。

最終講義の題目は、右のとおりです。（職名及び所属は当時のもの）。



武藤 敬 プラズマ加熱物理研究系教授
「ヘリオトロン核融合と高周波加熱
—広い試み、予想できない期待、進歩は人—」



山田 修一 装置工学・応用物理研究系准教授
「核融合技術と共に進めてきた仕事
—零から岩へのステップ—」

平成27年度実験室内消火訓練を実施

核融合科学研究所では、毎年、大型ヘリカル実験棟本体室内で火災が発生した場合を想定した消火訓練を実施しています。平成28年度末から実施が予定されている重水素実験を想定して平成27年度の訓練が3月28日に行われ、所内から約70名の実験関係者が参加しました。

訓練は、重水素実験中に本体室内の大型ヘリカル装置（LHD）上部のコイルから出火したとして、火災報知器を模擬発報させて開始しました。制御室では、実験責任者（自衛消防隊地区隊長）の指示により、安全確保や装置停止など非常時の措置が取られました。本体室では、職員で構成した自衛消防隊の隊員が、制御室からの指示により、模擬出火現場で初期消火活動やLHD関係装置の状況確認等を迅速に行いました。

一連の対応状況は、制御室に掲示されたチェックシートに集約され、訓練終了後にはミーティングを行って、非常時の指示系統や状況確認の手順について改めて確認しました。



炭酸ガス消火器による初期消火活動を行う自衛消防隊員



チェックシートにより対応状況を確認の様子

平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞

本研究所の高橋裕己プラズマ加熱物理研究系助教が、「大電力ミリ波による磁場閉じ込めプラズマの超高温化の研究」によって、平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞しました。本研究では、ジャイロトロン管内の電子ビームの空間電荷を中和させる運転手法を開発し、ジャイロトロンによるミリ波出力として、世界最高の値を達成しました。この大電力ミリ波を大型ヘリカル装置に適用することにより、ヘリカル型磁場閉じ込め装置における世界最高の電子温度とイオン温度を達成しました。本研究成果は、定常運転が容易なヘリカル方式による核融合燃焼プラズマの実現に見通しを与えると評価されたものです。



天野恒雄名誉教授が『瑞宝中綬章』を受章

核融合科学研究所 天野恒雄名誉教授は、この春の叙勲で『瑞宝中綬章』を受章されました。これは、長年にわたる教育研究の功績と我が国の学術振興の発展に寄与した功績に対し授与されたものです。栄えある叙勲を受けられましたことを心よりお祝い申し上げます。



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS

No.229

2016年4,5月号

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6
TEL : 0572-58-2222(代) FAX : 0572-58-2601
URL : <http://www.nifs.ac.jp/>
E-mail : nifs-news@nifs.ac.jp

※過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

複写される
方へ

本紙に掲載された著作物を複写したい方は(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F
TEL:03-3475-5618 FAX:03-3475-5619 E-mail:info@jaacc.jp 著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究所へご連絡ください。